

# バストス週報

第1642号  
昭和五十二年十二月四日  
月曜日出行  
Director  
Koiti Mori  
Redator  
Sho no Miyatake  
Rua 10 de Novembro 882  
C. Post. 112  
Fone; 340 Bastos  
CEP, 17690  
E. S. P.  
Anual Cr. 230.00  
前金 Adiant.

## 茶羹羹献上

先々週報、十一月二十日号九ページの終りに当地カスカッタ区の中中三郎氏が去る六月中旬御承伯になった皇太子様にバストス名産茶羹羹を献上した記事がのっている。東宮侍従、八木貞二氏から最高裁判所判事渡部和夫氏宛の札状という形式で、その内容が納得できらぬのである。それによると、六月十八日パレンテランテ宮殿に御招待を受けられた皇太子御夫妻に渡部判事が御目にかかり、十年以前御承伯以来の御面会であったことをお喜びになられた。その席に八木侍従も居られたのである。渡部判事はかねて山中三郎氏から依頼されていたバストスの茶羹羹を八木侍従を通して皇太子様に献上の手続きをたのんだのであろう。

八木侍従は帰国後、それを皇太子様へ差し上げ、後日東宮御所に於いて御夫妻に清宮、札宮、紀宮の三殿下と共に召し上って、渡部判事を通じ、山中氏によりしくという意味のことを仰せられたのであろう。

われわれは、その札状の文面によって、山中氏の茶羹羹献上の一件を知ったわけであるが、実は山中氏のアイデアというか、頭脳の切味の非凡さに驚嘆したのである。

皇太子様は各所御旅行なさるので、列る処でお土産の献上をお受けなさるのであろうし、珍らしいこともあるまい。こんど二十年祭に御承伯になっても、各地邦人から色々と献上品の申し出があつたと思われるが、個人で、田舎の名産とはいえず、茶羹羹を献上するといふ趣向は一寸奇想天外とも言えないことなう。尤も、普通の個人じゃ一寸困るが、山中さんには前市長の「お父さん」という肩書がついているし、仲介の労をとってくれた方がバストス、カスカッタ区出身渡部判事、おまけに殿下とは御面識のある判事さんというお道具立てのそろつていたことも都合がよかつたといえよう。

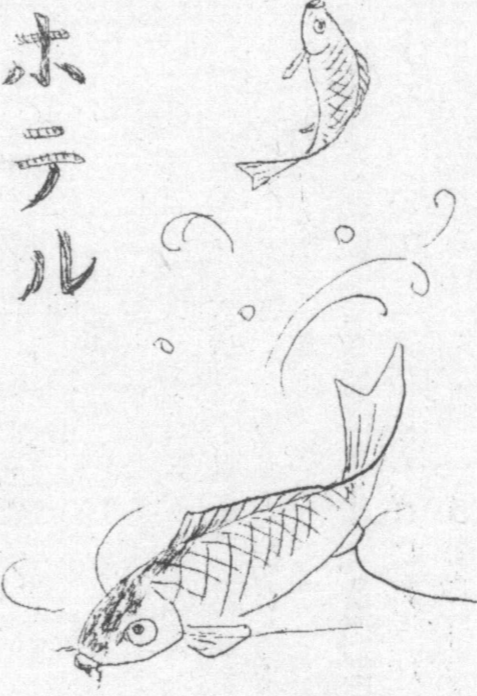
吾々のような個人なら、三人寄つても五人相談しても、そんな智恵は出るわけはないが、さすかは山中三郎さんだと、心から慶祝申しあげる。

皇太子御夫妻がパラナへおいでになる時、一時間でもいいからバストスへ御立ち寄り願えないだろうかと思ひ出したのも山中さんであつた。そういう運動が各地にあつたらうし

## HOTEL USAMI

Rua Pres. Vargas-376, Fone; 22, Bastos S.P.

ホテル  
うさみ



純粋の日本料理と  
ブラジル料理

お泊りとお食事には  
御宴会と御会食に  
御家族連れのお愉しいお食事には  
バストス名物料理  
鉄板で焼いて鉄板ごと食卓へ焼き肉

バストス市ロッドピアリオ前  
電話 二二二番

## FLORA BASTOS

T. MORIMOTO & FILHOS LTDA.  
Rua Duque de Caxias-524, C. Post. 171, Fone; 29.

### 農林省公認苗木専農園森元

果樹の苗木類一切、並樹用樹、庭園樹  
生垣用樹、植林用苗木、赤松、黒松等の  
日本松の苗木、鉢植、盆栽、その他花の  
苗、流行中のサマンバイア、蘭の各種珍種  
ツツジ、バラ、ツバキ、サツキ、キリンマ、ボケ  
ヒイラキ、モクセイ、モクレン、フジ、  
モミジ等いろいろあります

森元苗木本舗  
電話 二一九番

く、実現しなかったが、出来ないうまでも努力して回る意識の強い人である。敬服の外ない尚、茶羹羹は四十年ばかり前、古田義松氏の創案になるもので、色はあざ緑、若茶の微粉のまじり上品な味で、現在は高橋製菓店で販売しているが、たとえ天子さまに差し上げても、おかしなものではない。糸音



# 選挙と候補者

十一月十五日の選挙日、かうたの具合も悪いし、気分もすくれないので棄権してしまおうと思つておると、市役所のクルマか迎えに来てくれたので、両脇をかかえられて、ぐつとこごと乗せてもらった。

個人のクルマは選挙場の玄関まで行けず、三百メートルくらい歩かにならぬので、私のような半病人は特に入口までつれて行つてくれるのである。

遠くサンパウロから自家用車や貸切りオートバスで何十人という人達が二日ばかりで選挙に来ておられるのに、わざわざ迎えに来てくれるのには断わるといふわけがままは許されぬ。午後三時頃で、もう出盛りは過ぎていたのだから、一番手近の投票場まで五メートルほど杖をついて来たよとたどりつき、すぐ投票が出来た。

その日の投票は、上院、下院、州院であつたか、上院には知人がないので、ARENAの一人に、下院、州院には知人があつたので、完全ではないが、どうやら札は入れたか、三人とも賛党である。どういふものか私は野党は好かんので、知人があつても入れない。たとえ日本に居て議員を選挙するとしても、現在の社会党以下の野党に投票する気にはなれない。自民党の政府が必ずしもいいとは思はず、好かぬ点もあるが、野党よりはましだと思つてゐる。

ブラシルのMDBは、日本の野党とは少しちがつてはいるが、政府に権をつく点では似たようなものだ。そして、カステロ、ブランコ初代革命大統領以来四代にいたり、在代の主権の革命政権のつて来た政治そのものが非常にまじめで、特に庶民階級に対する感情の柔らかなさといつたものに好感をもつのである。

ブラシルの政界中には、軍部政治を喜ばない人もあるが、革命政府以前の政党政治が必ずよかつたという治績はないように思はれる。ただ、わいわい騒ぎ合う、うるさい印象ばかりが残つてゐる。

今回の日系候補を見て思うことだが、下院にも、州議にも、それぞれ十人ほど名乗をあげてゐる。各自、自信があつてカンシダツトするのであろうか、少し多すぎるなと思ふが、予想では七ホドまりであらう。誰かが落ちることになるが、お前弱いやうだから、やめとけ、とも云えず、こればかりは、こまつたものである。

系音



## 眼科専門

眼科一般 眼鏡の度測定  
眼科手術、目の整形

### 診療時間

日曜日と祭日以外は毎日  
午前八時より十二時まで  
午後二時より六時まで  
OINPS 受付致します

バストスの皆様へ

バストスへ出張が不可能になりましたので、御遠路御足労で忍痛作らうツパン市の診療所までお出下さいませよう、お願ひ申上げます。

サンパウロカリジウス 二七八番地  
ロードヒアリオ前

## INSTITUTO DE OFTALMOLOGIA DE TUPA

Clinica e Cirurgia de Olhos  
Prescrição de óculos e lentes de contato  
Rua Carijós nº 278 - TUPA - Fone: 2903

Dr. Traó Umino  
Dr. Luiz Carlos Alves Negrão

### 海野勲

Dr. Luis Carlos Alves Negrão

電話二九〇三番

### 狸の説法

### 一医学士のお父さん

63

何しろ古い話で、三十六年も前のこと、多少思いちがいがあつても知れんが、故江利さんがサンパウロから帰つてこの土産話だと思つた。

「あんたも知つておられる元、アルト医に居た多田という人な、あの多田忠太郎にあつたよ、どこに居るかといふたら、イビウーアの生長の家録成道場に居ると言つたばい。

もうそこに二年ばかり居る様子じゃつた。その録成道場の番人ちうか、掃除人ちうか、そんな仕事らしか。そいばつてん、息子が医学士は卒業して開業準備中とかで、もうじきに迎えにくるとで、楽しみにしとると言ひよつた」といふことであつた。

どういへば、アルトに在任中、今は貧乏しとるか、息子を医科にやつてゐるから、息子が医学士になつてくれりや、おれもましになれよう、と云つたことを聞いたことはある。いや、その忠太郎なら、いやな思い出がある。組合にいて何百人という人のお相手をしたかだかつ、さよさまな記憶のあるのは当然だが、中には忘れられない不愉快な思い出もある。

るものだ。

その頃バストスの主産物は棉花で、二月から五月までは「わた薬劑を組合は細うすわけにはいかかった。棉樹が一米以上にも伸びて、四方に枝をひろげるようになった。ベルテパリスを使うが、三四センチの知刺のころは、アルゼニャット、シユンボを使用する。大きくやっっている人はカミニオンにタンポールをいくつも積み、畑で適量に薬を入れて攪拌し、噴霧器をかけた容器に入れてやる。三人も四人もなうぶと、車上の人も中々忙かしくなる。

ある時、そのアルゼニャットの荷が着いたので調べて見ると、夕ガのはまった桶、マゲモノのような低い桶にニキ口位いずつ入っている。粉でなく、水で粘ってあるのだが、今日はならポリエチレンの用器を使うだろうが、この頃は木の桶だから、中の薬品が水分を失って、コチコチになっっている。

こりやいかん、このままじゃ水に落くといっても大変だ、というので、店員総動員で桶の蓋をとリ、少量の水を入れ、コチでかきまぜて使用しやすくしていた。

そこへアルト匹の多田忠太郎外二、三人が来られ、何をしているか、というので、実はこれこれしかじかと説明すると、「君たちは水を加えてふやして儲けるつもりなんだな」と意地のわるいことを言う。

「冗談言っちゃこまります。あなたの見ているとおりに、使いくしていらんです」といっても聞かず、区へ帰って近所隣りへふれてまわる。

「クスリを水増して儲けている、と評判するのである。詠きに来る人があれば弁明できるが、こっちから弁明して歩くわけにもいかず、不愉快な思いをした。

この多田という御仁、警官上りで、酒のみで、いわば区民からきられていた。しかし、自分の息子を区署にしようとして、聖市へ出して送り出したという点は、あつぱれであつたと思う。もし今も存命なら、九十歳迎かろう。

念仏者は無事の一途なり  
そのいわれいかにとなれば  
信心の行者には  
天神地祇も敬服し、  
魔界外道も降参することなし。  
(歎異抄)

糸 五日

### 十一月週報俳壇 仙人掌より

- 雨後の冷今日こそ蜂の巣を焼かん 堀山 米子
- 悔りて蜂の巣を焼き刺されし目 太郎田 去念
- 赤土に続く里の土麦青 む
- 蜂の巣に草残しおくコロノかな 下谷石へ

## Organização Social de luto A Regional de Bastos de HELENA SATIKO ICHIMURA

Rua Adhemar de Barros - 295, Fone: 361 Bastos S.P.  
Residencia no local. Faça Bastos crescer prestigioso seu - comercio, agora sobre direção novo proprietarios apareci do fericiano riveiro Helena Sabiko Ichimura, artigo fune raria tais como Cruz, Hossenko Oihai, Cruz, velas - Umbando com geral coroas em geral etc...

Agradecemos para preferencia  
Atende-se dia e noite, tambem pelo laps Funeraria  
エレナ 佐智子 市村

### 葬具店 フネラリア サンペードロ

後藤がソリンポストの向い側で開業致して居ります。当店では一般の備品の外にお線香、ローソク、恒牌、切花、花輪など仏式に必要な品一切を準備して御奉仕しております。御用命下さい。  
インプス、フニラール受付致して居ります。夜、昼営業致して居ります。夜間は電話でお呼び出し下さい。  
電話 三六一番

- 青麦に馬上の耕主手をかざす 太郎田 みどり
- 蜂の巣や花材に欲しきあの枝に 宮崎 比眼
- 麦青む百アルケールに一樹がし 織田 糸音
- 国拳けてセラトド開発麦青む 萩原 義山
- 青麦や南大河は風あうらん 本田 かね子
- 荻頭に蜂の巣の下くぐりゆく 前山 南嶺
- バラナ路の吹く風温し麦青む 真木 真水
- 巣をのけし提灯蜂に家運向き 真木 真水
- 念願の国道開きビントヒー 前山 南嶺
- 蜂の巣や貸家の札も傾きて 真木 真水
- 麦青むセラトド開発移民くる 真木 真水
- 水やうぬ不精の夫にノビル咲く 真木 真水
- 麦青むバラナ路行けば 真木 真水
- 蜂の巣や新築打りし軒下に 真木 真水

### 募集 週報新年号掲載の文章

年頭の所感、隨筆等の文章を募ります。あまり長文の場合は何回かに分けて掲載させていたたきます。

バストス週報社

御挨拶

座長 尾上菊若

時下酷暑の折柄皆様には益々御精進の事と拝察御慶び申し上げます

諸、私共伯光団映画ショーもお蔭様にて創立十周年を迎え例年の如く新春一月四日（木曜日）夜八時よりシネ、バストスに於いて伯光団映画ショー開催のはこびと相成りました。これひとえに皆様方の絶大なる御愛顧の賜と座員一同深く感謝致しております。

今回も映画、新作舞踊、奇術、手品等盛り澤山なプログラムで皆様は御目見得したく存しております。何卒其の節は皆揃お誘い合せの上賑々しく御来場御高覧を賜り度く御願ひ申し上げます

一九七八年十二月四日

御客様各位

前売券は、坂口キタノ様  
筒井様 原野様  
何卒参上の節はよろしく御願ひ申し  
上げます

當選御礼

セルジオ守永

私儀今回MDB党より推され、州議選に初めて立候補致しましたにも拘らず皆様方の絶大なる御協力を頂き、御蔭様にて當選の榮に浴し得ました事は、ひとえに皆様方の御引立の賜と深く感謝申し上げます。此の恩儀に酬いん為の粉骨砕身努力の覚悟を致して居ります

取り敢えず當選御報告をかへて御礼の御挨拶まで謹んで申し上げます。  
一九七八年十一月二十二日

各位様

連載小説 13

バタアン死の行進

故 火野葦平 著

オオドネル俘虜收容所、比島兵戦死者の供養碑除幕式、比島婦人会の人たちによって豪華な花環がさげられた。風をまじえた雨にたたかれて、一丈うかい四角塔にかけられた黒い幕が咄やくような音を立てて鳴っている。数千の捕虜たちがまぢまぢな服装で、雨に濡れて立っている。所長伊藤中佐の手によって、静かに幕が取りはらわれた。金文字で書かれた「慰霊碑」の三字と、タガログ語の「無名戦士霊の安福を祈る」という碑文が露まれた。

来賓の中に立っているマテオ、カピンピンのすんくりした髪を私は認めた。よれよれの白い背広に、黒のネクタイを無造作に結んでいる。ヘルメット帽を両手に持ち、斜に降りつけて来る雨を顔にうけて、眉を寄せて立っている。ぬかるみを歩いて来たかと思えて、赤靴は泥まみれになり、膝近くまで泥がはね上っていた。供養碑の除幕式があるというのに、脚裏プニアンで持病の療中であつたのに、病軀を押し出でて来たということであつた。そういえば、猪首で河馬に似ている彼の顔には、病的な斑点がふさ

不健康な青黒さだった。私の眼には近くにいろカビンピンの姿が自然に入ってきたが、式の間中、彼が涙を浮かべ、涙をすすり、嗚咽をふるえながら、なにかをこぼし、と我慢しているのを知った。

夕暮、合衆の木にとり囲まれた伊藤中佐の官舎で私たちが七面鳥料理の御馳走になった。その席で、カビンピンは私たちをおどろかせると酒を浴びた。彼は医師から禁酒を命ぜられていたのである。しかし、今のカビンピンには病氣のことなど念頭にはないらしく見えた。彼はぐいぐいとウイスキーをのみ、陽気に騒ぎはじめた。しきりと席にいる比島婦人会の若い娘をからかった。自分の女房との古い昔ののろけを語った。嘗てバタアンの戦場で、日本兵を殺戮する命令を書いた手にウイスキー、グラスをささげたまま、黄色い声をふりしぼって歌いだした。なんの歌だか、ちんぷんかんぷんである。恋の歌だと後で註釈した。カビンピンは珍妙な恰好で踊り出した。誰も今宵のように愉快なカビンピン将軍を見たことはないといった。

「こんなに飲んだら、わしはもう明日は死ぬかも知れん」そんなことをときどきいいながら、なお飲みやめようとはしなかった。マニラに帰る、これから或日、私はフランシスコ将軍の邸を訪れた。彼は満酒なバロン、夕カログ妾であられた。彼は私をみちびいて、一つの硝子戸棚の前に立たせた。大小さまざまな形のウイスキー瓶が二百ほども数段にならべられてある。彼は戦前かうウイスキーの蒐集をしているのだといった。彼もカビンピンに劣らぬ酒好きらしい。頸骨の張った四角な顔の、笑顔などは一年に三度も見せた事がないと言ふことで有名な、不愛嬌なフランシスコは、その日はいくらか機嫌がよかった。

デル、ビラル兵營で顔をよく知っている夫人が出て来て、卓の世話をした。しかし、酒だけは扱わず、フランシスコは私に特製のカクテルを作ってくれた。東洋風彫刻のしるある紫檀の戸棚をがたつかせて、フランシスコ将軍は一本の銀の六角棒を出して来た。長さは一尺五寸(五〇センチ)ばかり、先さに行くと細くなり、角が消えて丸くなっている。

「それは、なんですか？」  
「マシック、ステッキです」  
私はその意味がわからなかった。  
「家内がこしらえてくれたのです。これは、私の運命の告知棒です」フランシスコはそう言って、六角棒にけずられてある一面を、私に示した。英語で書

が彫り込んである。ハシ手のようなひろい掌で、彼はそれをくるくると廻わした。一面ごとに年号とその閱歴が書いてある。のたった。任官するたびに、その記念として彫りつけて行ったものらしい。千九百何十年、少尉、何年、大佐、何年、聯隊長、何年、憲兵司令官、という風に。そして最後にくるりと廻ってあらわれたのは「一九四二年四月、捕虜」の文字であった。

彼はそこを見せたかったらしく、その一行を二度ほど続けざまに読んで、  
「最後、最後」といって、高らかに笑った。  
私は仕頂面男のその頓狂な笑いに、自嘲と、寂寥とを感じたが、なにかの希望に似たものの潜んでいることを感じた。

六角棒には、まだ何も書かれていない一面が残っている。そこへ、次には何が書きこまれるか、まだ誰も知らない。恐らく神も知るまい。フランシスコは捕虜になって苦悶したが、絶望はしなかった。釈放されて一市民となったけれども、この魔法の杖の空白の部分にしかなることが彫られるか、思えば頼りない話である。昨日もわからず、今日もわからず、まして明日はなおさらわからぬ人間運命を、魔法の杖はどんな魔術で解決しようとしているので

# ARTES GRAFICAS GRAFISUL LTDA

Rua Pres. Vargas n°353 - Bastos, S.P.  
Antigo predio do Banco América do Sul  
Atendemos pelo telefone - 281 e 282

## 美術印刷

元南米銀行の建物にて営業  
致して居ります。お引立を  
願ひ上げます。

- Impressos - Notas Fiscais
- Produtores
- Cartões de visita
- Convite de Casamento
- Qualquertipo de impressos
- Perfeição rapidez e bom acabamento

Escrever que estamos funcionando com os maquinas modernos Automatico que faz qualqel tipo de impressos

印刷機は開業に当り最新式モデルノオートマチック(自動式)最高級機と新品活字を取り揃えましたので、印刷の鮮明さと、仕上りの美しさは皆様に御満足頂けるものと自負して居ります。御註文の多少にかかわらず、御用命下さるようお願い致します。迅速丁寧 安価をモットーと致して居ります。御引立をお願い致します。

- ノック フィスカー - 農産物出荷伝票の印刷、訪問用名刺の印刷、結婚式の案内状の印刷、フィスマ、控帳の印刷
- 印刷物一切

## 高級印刷所 グラフスール

ろうか・残念ながら、私は十年前にフランススコと別れたきりなので、その後、魔の杖によって、どんな怪奇が起ったか、知る由もないのである。

敵となり味方となる人間関係は、いつまで続くのか、私たちらは敵という観念に離弄されて、戦場を往左行したが、真の敵は戦争そのものであるために、戦線での一切の行為や思考が盲目の乱舞に終わったことは仕方なかった。暴力に思想などはない。罪もまた幻影にすぎないものである。

「おかしな戦争じゃなあ」

カソイの突の兵長をはじめ、兵隊たちが素朴に嘆きだしたが、それらの兵隊たちの多くが戦死し、昭和二十年八月、日本の全面的敗北に遭遇して、今度は自分たちが捕虜になったのだった。

昭和二十一年、四月二日、元比島派遣軍最高指官本間雅晴は銃殺刑に処せられた。バタアン作戦の結果、その他の罪状によるものといわれる。戦犯裁判はマニラに於いて行われ、本間雅晴はモンテルバの監獄に収容されていた。私はこの裁判について今こころ触れることはしない。深いことは何も知らないからである。ただ、この裁判に証人として出廷した本間夫人富士子の言葉を引用して置こう。

「長いことつれ添って来た夫でございませう。夫はあくまでわたくしを信じてくれましたし、わたくしは夫を信じ、眞敬して居りました。わたくしには一男一女がございませう。息子は成長の晩には夫のよう立派な人格の高い紳士になるように祈って居りますし、娘は夫のような高潔な主人を持つようにと願って居ります」

四月二日の夕刻、本間雅晴はモンテルバの監獄から、ソープに乗せられて、ロスバニアスの刑場につれて行かれた。死刑が執行されたのは三日午前零時五十三分、四年前に、日本軍がバタアン総攻撃の火蓋を切ったと同じ日。

死刑執行官の若い大尉が、最後にいい残すことはないか、と訊ねた。本間は胸を張り、オックス、フオード、アクセントの美しい英語で、いった。

自分は勝者の一方的な裁判によって、今、銃殺される。しかし、アメリカは、広島、長崎でなにをわつか。あの責任はトルマンが取るのか、マックワサーが取るのか」

やがて、時刻が来た。十二人の銃殺隊かならんだ。本間の頭には黒い布が被せられ、胸には標的の白い紙が貼りつけであった。

「射て」……弾丸は三発しか当たってはいなかった。

### 全滅

雑聞しているモロ族の市場の中を抜けて行き乍ら

## 冷蔵庫の修理

各種冷蔵庫並に家庭電気器具一切修理の御用は、ツパン市のオフィシーナ、久本修理工場へ御用命下さい

確實・迅速・丁寧・安価

ツパン市アベニダタモイオ五五〇

### 久本修理工場

電話一九四八番

お問い合わせは 水口商店で

## FABRICA de GRANITO

Av. Rio Branco 7/2, C. Post. 23, Fone 21. 1390

### ADAMANTINA S.P.

大西文吉 郵 函 二 十 三 番 電話 二 一 一 三 九 〇

日本式及ブラシル式  
墓 碑 記念 碑  
胸 像 石 燈 籠  
石 白 ち 白

石材美術彫刻一切製作  
古い墓の修理も致します  
アママンチナ市リオブランゴ大通り

### 大西石碑工場

杉兵長はいちめんみなぎっている異様な臭気が、かんのにおいか、どこから流れて来るものか、どうしてかわらなかつた。ならべられてあるそんな種類は多くない。漁師が大部分だから、魚介類の多いのは自然だが、杉兵長を当惑させている臭気は魚介だけのものではない。竹籠、繊維細工類、原色彩の目立つ織物、人形などが陳列されてあるが、さういふものから発散する植物性のおいでもない。方々をうろついた杉は、朝鮮民族は、蒜くさいとか、イゴロット人け大くさいとか、勝手放題な着臭をして独り合点をする便利癖があった。そこで、この臭気をモロ族のおいたと決めたくて仕方がないのである。けれども、さて、それが何の臭なのか、モロ族は何くさいのか、そこが判定に苦しむわけだ。そこで、思案にあまっても、先を歩いてくる学者の村橋中尉に質問を試みた。

「中隊長殿、奇妙なおいかしますなあ。こりあ何かにおいでしようかなあ？」

「ファイファイ教のおいだよ」

言下に答えて、村橋中尉はさっさと先きに行く。彼は市場に当番兵をつれて来たものの、買物をする気はしないらしい。兵舎を出るときは、買いたい物があると云ったのだから、全然意志が打たないの

であろうが、その前に別の用件がある模様だ。誰かを採しているように、熱心に方々を物色しながら、ぐるぐると危険な広い市場の中を廻る。

「さうざらと銀の破綻しそうな入道堂を滑りあからせた海の彼方には、赤黒黄などの編織物をあらわした美しい帆に風を孕んで、幾隻もの渡船が走っている。その先きにタリク、ト島、サマル島があり、海岸に椰子や檳榔の林が黒い鋸のようにつらなっている。ふるり返えると、そびえ立つ緑一色のアボ山、ここはグバオ市と、サンタ、クル又町の中間地区、フンガンという小さな部落。時は昭和十七年の半、日本軍がフィリピン撤定作戦を終った、哀れな一時的勝利の時期である。ミンタオ島には各前に、六十萬と稱せられるモロ族が敢在している。いろいろ打意味で厄介至極な土地である。危険な市場と書いたのは、絆搦で戦才的なモロ族が、眞の味方であるかが、なお容易に定めがたいからである。

杉兵長にと、こ、ファイ教のにおいなどという答えは、かえって当惑するばかりだ。仏教が線香くさく、基督教が燐燭くさいという意味からいえば、回教にもおいがあろうか。現在、市場に捲つてゐる悪臭が、回教のにおいだといわれても、何くさいのかわからぬことは依然である。

モロ語の通訳で回教でもある佐々木三郎氏が同道して居れば、解決がつくかも知れないが、今日は来ていない。村橋中尉がわざとつれて来なかったと、杉当番兵は判断していた。中隊長の魂胆もそれでは知れるというものだ。きつと、又、女だー それにちがいない。

「村橋さん、あんたは大層自信をもっているさるよ。ようだが、モロの女だけは、さう簡単に行きませんよ。」谷めるような佐々木通訳の言葉をきいて、「さうかぬえ。」と答えはしたが、その端正な顔には、反腕とも皮肉ともつかぬ微妙な微笑が浮かんでいた。それは裏がえせば憐憫と侮蔑とであつて、著積された体験、重々しさを誇り、それがとんなに重くても、自分はおぼろめかぬと錯覚している英雄の姿勢に似ていた。

当番兵である杉兵長は、いつも間近かにいて、隊の者の知らぬ秘密まで知っていたので、中隊長が女作りに卓絶していることに一驚していた。平家壘をいくらかよくしたような面相で、女に縁のない杉は羨望にたえぬ次第であるが、競争しようなどとは毛頭思わぬいから、当番兵という軍律によって定められた奴隷的地位で、自然に習得のような役目をつとめる仕儀になっていた。漁色の助手である。村橋は故国に妻も子もあるのに、それとこれとは実に現状に耐えている。妻子を愛している、心に変わりがない

ということとは杉にもわかる。戦場のことは全く別論理という考えか、生来の好色漢なのか、ともかくもその奔放さは天衣無縫の観がある。しかし、これには多少の論理的裏づけがなくもない。

「現任民の宣撫工作は愛情以外にはないんだ。大声で、大東亜共栄圏の理念を説いたり、えらそうで顔で高いところから命令をくだしたりして、効果はない。また、ボスターや、伝單だつて、無駄骨折リだ。女と仲よくするに過ぎるよ。百万枚のピラにも匹敵する」

「そういう村橋は日軍事変以来、各地を転戦し、部隊の移動にしたがつて、買った民族の女と接触すること、新たな興味を感じてきたらしい。自分の手で旅行しているわけではなく、命令を動いている時に、三十民族の女を知ることが念願だと、それを生れたときから考えていたようなことをいいた。たしかに、その計画は着々と進捗した。ほとんど失敗ということがない。杉兵長もときどきやつかんで、一度ぐらいいくれば面白いのに、いつも期待は外れた。なにが独特の秘訣があるのであろうか。馳男で引込み思案の杉に付色事柄の手練手管などとはわかつかない。しかし、杉にもいくらか納得できぬこともない。つづく

### 謝歳末福引券付大売出し

常日頃御顧慮に報し  
来る十二月一日より、十二月三十一日まで、式百五十クルゼ、ロス以上のお買上げに対し福引券を奉上げます。而して来る十二月二十三日の聯邦ロテリマ当選番号に依り左の景品を贈呈致します。

#### 景品種目

- 一 一等賞、アパレリオ、ソニー音響二箱共(山崎TRISOM製)
- 二 二等賞、クラブドールナショナル (電気電池併用)
- 三 三等賞、ショコデバヤライクスメンシオナル 一樽
- 四 四等賞、電気リミットカドール(SUNBEAM)一台
- 五 五等賞、電気アイロン 一丁

以上、尚以て御買下されて、年始歳末の贈答品を取り揃えて居りますれば、御利用下さいませ。お願ひ申上げます。

御来店を待たし申す

# 永吉靴店

# 柴田時計店

同 共

# 三兄弟二姉妹は危険に育つ

公安犯は三三人兄弟。一般には子たたくさんが多い

その(二)

知識だけを教えた落しとし宛  
危険な家庭

ところで、きょうだいの組み合わせ以外にも、危険な子どもを育てる要素がある。

(教育者の家庭)

加藤三兄弟の父親は小学校の先生、岡本公三の父は、元高校の校長。そして伊藤和子の父親も現職の中学校の校長(いずれも事件の起きた当時)

水田洋子と梅内恒夫(梅指名手配中)の母親は、人一倍熱心な教育ママ。

また、テルアビブ空港で死んだ安田安之(25)の家庭

両親がとくに教育熱心だったという。

それだけに世間のショックは大きかったのである

「こうした家庭に、過激的な政治犯が出るのは、ある意味ではあたりまえなんだ」と、昌子武司さん(東京都立教育研究所)は述べているのである。

「教育者というものは、とかく家庭の中でも、ただの父親、母親になりきれず、つい知識だけを教えこみやすい。そこで、子供は他人への思いやりや、やさしさといった情様に欠けた、頭ごっかに育ってしまう」

その結果、自分の欲望だけで衝動的な行動に走るようになってしまう。その結果、子供を駄目にする。○カワマア天下の家庭——男まさり、心配症、子供に口やかましい。これが連合赤軍の兵士々の母親に共通している点。

父親は無口でおとなしく、まるでカゲがうすい。坂東國男の家庭が、この典型的な例。

「息子に母親によりかかりながらも、そこから抜け出さうともかく、そのギャップが、ある日とつげん思いがけない行動をとらせることになるのです」(東京家庭裁判所調査官、兼頭吉市さん)

○片親だけの家庭——

とくに、母親だけの場合。

「父がいないのだから」と、母親が必要以上に愛情を注ぎ、教育を押しつけやすく、子供の反抗心をかきたてる。

○親に望まれない子ども

本当は、女の子がほしかつたのに、生れたのは男の子だった(この逆もある)というとき。

## Auto Torno SM

Service de Torno e Solda Elétrica em geral  
Especialista em serviços de Cardam  
Serviço de Troca de Cruzentas  
Rolamento e Serviço de Vibração  
Rua 10 de Novembro-1.105, Bastos S.P.

### 開業御通知

旋盤溶接電気  
トラクトールの修理一切  
農器具類の破損の修理を安価迅速に行いますから何卒よろしく御願ひ申上げます

旋盤溶接師  
三宅繁雄  
アラデイス デメンブローニョ五番  
アウトトルノSM

## 日南無水式万能鍋並びに新案卵焼鍋をお求めは今年中に

フランゴの丸焼き、魚の丸焼、ホーロ焼きに無くてもはならない便利な万能鍋も一月から30%以上の値上りとなります。数が少ないので早い者勝ちです。売り切れにならぬ内に御求め下さい

カーサ パランサの近  
ハストス代理人 伊藤栄登

## 生長の家十二月行事

三日 白鳩会 午後一時より  
十日 誌友蹴起大会 於オズワルドクルス 出発 午前八時 弁当持参の事  
十七日 誌友会 十二月先亡者供養  
二十日 大波い 於ツパン市

### ハストス生長の家

親がそういう気持ちを持っていると、子どもは敏感にそれを感じとる。そして、おとなにかわいかられたい。注意をひきたい。という気持ちから、犯罪に走りやすいたい。いつの世も親の心子知らず。子どもに事件を起されて謝まるよりは、親も組合わせを考えて武技しよう。

昔は、教育とけり徳育、体育、智育の順に教育されたものであったが、戦後は外国の真似をして、第一の徳育を廃止した結果、親殺し、子殺し等の犯罪者が毎日新聞を賑わすようになった。 完



死亡通知並に会葬御礼

母、田中ソデ（六十八歳）儀出聖中去る十一月十二日  
 急逝いたし、翌十三日グワルリヨス市拙宅より出棺、  
 ポマ墓地に埋葬いたしました。ここに生前御交誼を賜  
 りました皆様方に謹んでお知らせ申し上げます。  
 尚、葬儀に際しましては態々御香花を御届け下され誠  
 に有難く御礼申上げます

母は病弱の父の望むまま先年バストスより聖市に住む  
 長男である私の許へ移転して参りましたか、父亡き後  
 若き日より四十年住み馴れたバストスをしきりに恋い  
 弟達のいるバストスの自宅へ帰郷、今日迄半歳余を迎  
 隣の友け云うに及ばずバストス婦人会の方々に迎えら  
 れて復帰、毎日楽しく過ごさせて戴きました事は母の最  
 大の幸せでありました。御礼申上げます。

実は一々御礼に参上申上ぐ可処取込中に付き失礼乍ら  
 紙上を以って厚く御礼申上げます。

一九七八年十一月二十二日

グワルリヨス市 ション、ピトルタ、シルバ ヒー

喪主長男 田 中

妻 田 中 君 子 博

道 族 一 一

親戚 友 人 一 一 同 同

バストス中央第五区婦人会 様

バストスいけ花園好公 様

バストス婦人会 様

御香花をお手向け下さいました皆 様

バストス在任の 皆 々 様

